

# 令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	高校	学年	1年	コース	進学
教科	公民	科目	倫理	単位数	2
担当者	A 白石雄一郎	B 池田隼貴	C 豊田拓	D 森崎卓哉	
教科書	高等学校 倫理(第一学習社)	副教材			

## ○学習到達目標

様々な思想について学ぶことで、日本人としての生き方をはじめ、多様な生き方を理解する。また、国際化が進む現代社会において日本人として主体的に生きる上での素養を身につけることを目指す。

日本や世界の思想を学習することによって、国際社会における諸課題の原因に目を向け、その課題に対する考察ができるようになることを目指す。

## ○教科道徳教育到達目標

変化の激しい社会において、いかなる場面でも他人と協調しつつ、自律的に社会生活を送ることがするために必要な人間としての実践的な力と豊かな人間性を身につける。

## ○学習方法

- ・倫理では様々な思想・考え方を学ぶ。各思想の特性を理解した上で、これからの人生をどう生きるか、そしてこれからの日本について考えていこう。
- ・常に「なぜそうなるのか」という視点から、自分の意見をもてるようにすること。
- ・授業中のさまざまな発問に対して、わからないと思考を停止するのではなく、自分の考えを持てるように意識すること。様々なツールを使いこなし、情報を整理して自分の考えをまとめられるようになろう。
- ・Ipadを使用した様々な課題に取り組んでもらう。時には自分で考え、時には協力し、課題を達成すること
- ・提出物の期限を厳守すること。

## ○グレード別授業の基準

1学期はクラス毎に実施する  
2学期以降はA: 選抜クラス+成績上位者、B: 大学進学希望者、  
C: 専門学校・就職希望者(以上Ⅱ型希望者)、D: Ⅲ型希望者とする。

## ○評価方法

ルーブリック評価表を参照。

## ○指導計画

1学期		2学期		3学期	
6月	青年期の課題と自己形成	8月	仏教	1月	日本の宗教史 *鎌倉時代～ 江戸時代
7月・8月	三代宗教	9月		10月	
			11月	12月	

# 「ルーブリック評価表」

「ルーブリック評価表」		教科&単元	氏名		
単元	どの時代にも対応（汎用型）	指導テーマ	①時代区分の特徴を把握し、きちんとその区別ができる。 ②多角的な視野に基づき、それぞれの時代の特色を自分の意見で表現できる。		
観点	評価段階 評価項目	A（3点）	B（2点）	C（1点）	D（0点）
知識及び技能	確認テスト	確認テストなどを行い、10点分を加点する。			
	確認テスト（再テスト）	確認テスト（再テスト）を行い、10点分を加点する。			
思考力・判断力・表現力等	自分の意見を簡潔に表現①	資料を複数活用して、自分の意見をまとめている。	1つの資料だけで、自分の意見を表現している。	資料のデータをそのまま提示し、自分の意見が表現されていない。	期限内に、提出されていない。
	自分の意見を簡潔に表現②	誰にでもわかる表現で、教室にいるすべての人が聞き取れる声で伝えている。	誰にでもわかる表現で、教室にいるすべての人が聞き取れない声で伝えている。	表現がわかりにくい、教室にいるすべての人が聞き取れる声で伝えている。	表現がわかりにくく、教室にいるすべての人が聞き取れない声で伝えている。
	授業で取り上げていない項目についての研究	授業で取り上げていない項目について、3つ以上理由を添えて挙げることができる。	授業で取り上げていない項目について、2つ以上理由を添えて挙げることができる。	授業で取り上げていない項目について、1つ以上挙げたが、その理由を説明できない。	授業で取り上げていない項目について、1つも挙げることができない。
	次回のテーマについての分析・表現	テーマの特徴を踏まえて、その課題を明確にし、次のテーマについて的確に表現できる。	テーマの特徴を踏まえて、その課題を明確にし、次のテーマについて一部のみ表現できる。	テーマの特徴を踏まえて、その課題を明確にし、次のテーマについて全く表現できない。	期限内に、提出されていない。
	提示されたテーマに基づく資料の収集	提示されたテーマを考察できる資料を、3つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、2つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、1つのみ提示している。	期限内に、提出されていない。
主体的に学習に取り組む態度	予習課題への取り組み	期限内に、きちんと自分の力でやり遂げて提出している。	期限内に、他の人に教えてもらいながらやり遂げて提出している。	期限内に提出したが、すべてはやり遂げていない。	期限内に、提出されていない。
	他者の意見に対する意欲・関心	自分と異なる意見に対して、その違いを正しく認識し、その違いをすべての確に表現できる。	自分と異なる意見に対して、その違いを正しく認識し、その違いを一部のみ表現できる。	自分と異なる意見に対して、その違いを認識できず、その違いを表現できない。	期限内に、提出されていない。
	授業中の取り組み①	全ての板書を写し、講義の内容などを別枠でメモするなど工夫が見られた。	全ての板書を写した。	板書の一部を写した。	板書をしなかった。
	授業中の取り組み②	提示されたテーマを考察できる資料を、3つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、2つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、1つのみ提示している。	期限内に、提出されていない。
	復習課題への取り組み	与えられた課題に対し、自主学習を行い、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を期限後ではあるが、提出できている。	与えられた課題の提出ができていない。